

# 大阪市の認知症高齢者等の現況

資料 1

## 1 認知症高齢者数について

### (1) 高齢者数（第1号被保険者数）及び認知症高齢者数の推移

#### ①高齢者数（第1号被保険者数）の推移

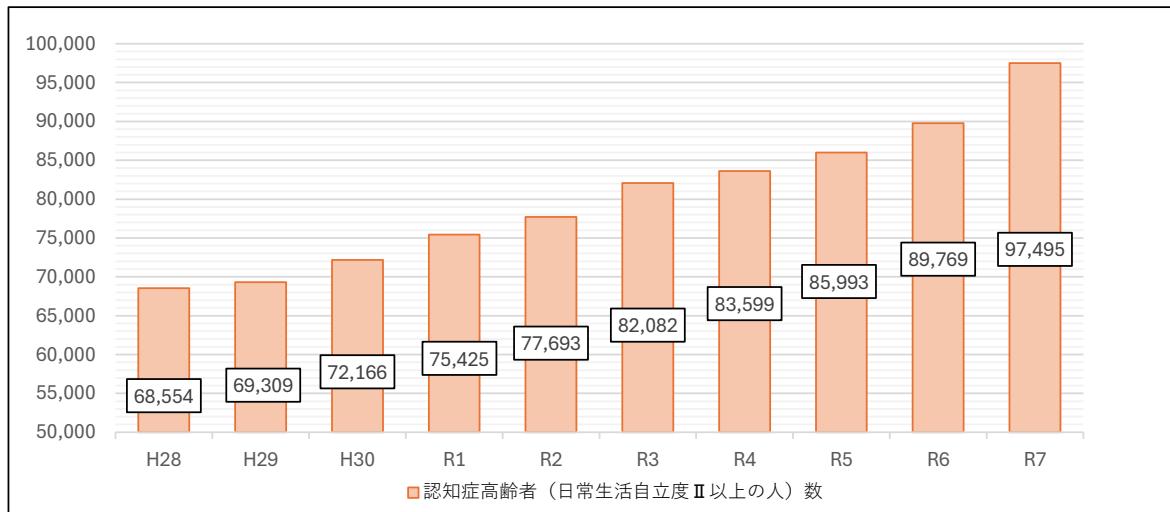
	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
高齢者数 (65歳以上：A)	672,774人	680,434人	684,566人	686,968人	687,673人	686,793人	682,062人	676,867人	674,761人	670,774人
前年度比	—	101.1%	100.6%	100.4%	100.1%	99.9%	99.3%	99.2%	99.7%	99.4%
うち、75歳以上 (B)	324,805人	338,163人	347,195人	356,680人	361,314人	360,296人	364,238人	377,219人	389,621人	397,648人
割合 (B/A)	48.3%	49.7%	50.7%	51.9%	52.5%	52.5%	53.4%	55.7%	57.7%	59.3%
前年度比	—	104.1%	102.7%	102.7%	101.3%	99.7%	101.1%	103.6%	103.3%	102.1%
うち、85歳以上 (C)	88,368人	93,334人	98,864人	103,844人	109,293人	115,736人	119,918人	123,754人	125,239人	126,977人
割合 (C/A)	13.1%	13.7%	14.4%	15.1%	15.9%	16.9%	17.6%	18.3%	18.6%	18.9%
前年度比	—	105.6%	105.9%	105.0%	105.2%	105.9%	103.6%	103.2%	101.2%	101.4%

#### ②認知症高齢者数の推移

	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
認知症高齢者数 (※)	68,554人	69,309人	72,166人	75,425人	77,693人	82,082人	83,599人	85,993人	89,769人	97,495人
前年度比	—	101.1%	104.1%	104.5%	103.0%	105.6%	101.8%	102.9%	104.4%	108.6%
うち、75歳以上	59,942人	61,210人	64,017人	67,179人	69,352人	72,834人	74,217人	77,075人	80,911人	88,303人
前年度比	—	102.1%	104.6%	104.9%	103.2%	105.0%	101.9%	103.9%	105.0%	109.1%
うち、85歳以上	33,277人	34,622人	36,905人	39,327人	41,584人	44,590人	46,175人	48,220人	50,278人	54,481人
前年度比	—	104.0%	106.6%	106.6%	105.7%	107.2%	103.6%	104.4%	104.3%	108.4%

※ ここで「認知症高齢者数」は、要介護認定において「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上とされた人（以下、「日常生活自立度II以上の人」という。）の数としている。

#### 【認知症高齢者（日常生活自立度II以上の人）数の推移】



- 認知症有病率の高い85歳以上の高齢者の増加が認知症高齢者数の増加に影響していると推察できる。

また、令和6年から令和7年にかけての増加 (+8.6ポイント) については、新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱い（以下「臨時的な取扱い」という。）が終了したことを受け、令和6年度に要介護認定更新申請件数が増加したことにより、臨時的な取扱いの期間において認定調査を受けていなかった潜在的な認知症高齢者が浮かび上がったことが、要因の一つと推察される。

(参考) 臨時的な取扱いについて

令和2年2月18日付け厚生労働省老健局老人保健課事務連絡により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る観点から、認定調査が困難な場合において、要介護認定の有効期間について、従来の期間に新たに12カ月までの範囲内で市町村が定める期間を合算できる取扱いとされた。

大阪市においては、令和2年3月9日から令和6年3月31日までの間、臨時的な取扱いを実施し、要介護状態区分に応じて、6カ月もしくは11カ月有効期間の延長を行った。（令和3年9月末有効期間満了の被保険者からは一律11カ月間の延長）

【臨時的な取扱いの件数】

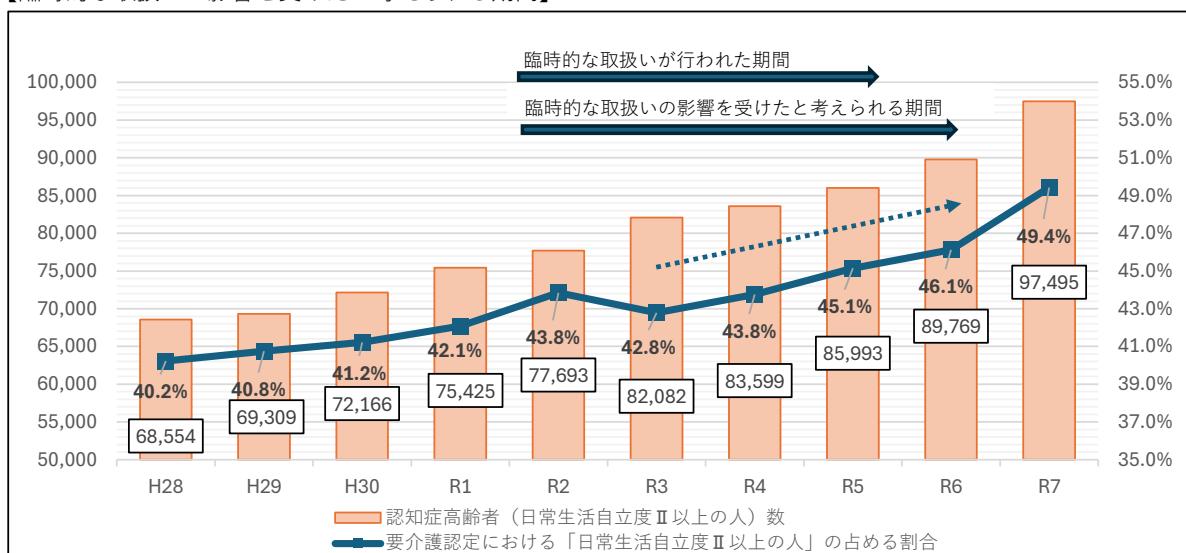
	要介護認定数	更新件数					
		合計		通常更新件数		臨時的な取扱いの件数	
2019年 (R1)	177,042件	101,779件	57.5%	101,779件	57.5%	— (※)	
2020年 (R2)	183,235件	74,519件	40.7%	16,633件	9.1%	57,886件 (※)	31.6%
2021年 (R3)	183,203件	106,300件	58.0%	50,536件	27.6%	55,764件	30.4%
2022年 (R4)	184,707件	121,505件	65.8%	65,771件	35.6%	55,734件	30.2%
2023年 (R5)	188,406件	96,679件	51.3%	56,340件	29.9%	40,339件	21.4%
2024年 (R6)	190,802件	87,660件	45.9%	87,660件	45.9%	—	

※ 臨時的な取扱いが開始された令和2年3月9日から令和2年4月30日までの間は、臨時的な取扱いの申出に係る統計データが収集されていないため、当該期間に実施された臨時的な取扱いの件数は含まれていない。

【要介護認定における日常生活自立度別割合の推移】

	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
「自立・I」	101,855人	100,770人	102,939人	103,835人	99,527人	109,776人	107,457人	104,468人	104,860人	99,771人
全体に占める割合	59.8%	59.2%	58.8%	57.9%	56.2%	57.2%	56.2%	54.9%	53.9%	50.6%
「II以上」	68,554人	69,309人	72,166人	75,425人	77,693人	82,082人	83,599人	85,993人	89,769人	97,495人
全体に占める割合	40.2%	40.8%	41.2%	42.1%	43.8%	42.8%	43.8%	45.1%	46.1%	49.4%
合計	170,409人	170,079人	175,105人	179,260人	177,220人	191,858人	191,056人	190,461人	194,629人	197,266人

【臨時的な取扱いの影響を受けたと考えられる期間】



(2) 推計値を用いた認知症高齢者数及び軽度認知障害（MCI）者数の将来推計について

「『認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究』（令和5年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業分）九州大学 二宮教授）」において、2022年の調査では、認知症有病率12.3%、MCI有病率15.5%であった。なお、2012年の調査では、認知症有病率15.0%、MCI有病率13.0%であった。

①性・年齢階級別認知症及びMCI有病率

	認知症有病率		MCI有病率	
	男性	女性	男性	女性
65～69歳	1.1%	1.0%	10.0%	4.6%
70～74歳	2.8%	3.1%	12.1%	5.0%
75～79歳	6.0%	7.4%	18.7%	13.8%
80～84歳	15.9%	16.9%	22.9%	21.7%
85～89歳	25.2%	37.2%	34.2%	23.2%
90歳以上	36.6%	55.1%	32.5%	17.0%

②推計値を用いた認知症高齢者数及びMCI者数の将来推計（大阪市）

	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
認知症高齢者数	9.3万人	10.1万人	10.5万人	10.5万人	10.5万人	11.1万人
MCI者数	10.9万人	11.2万人	11.3万人	11.5万人	11.9万人	12.7万人

※ 上記①（性・年齢階級別認知症及びMCI有病率）に、国立社会保障・人口問題研究所「『日本の地域別将来推計人口』（令和5（2023）年推計）」による大阪市の男女別・年齢階級別人口の将来推計を乗じて算出

- 大阪市の認知症高齢者（日常生活自立度Ⅱ以上の人）数は、既に、認知症高齢者数及びMCI者数の将来推計値（上記②）を超えた伸びを示しており、また、今後も当面の間、認知症高齢者数及びMCI者数の増加が見込まれている。

(3) 所在地別の認知症高齢者（日常生活自立度Ⅱ以上の人）等の数

認知症高齢者等		認定申請時の所在（再掲）				
		在宅	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護医療院	その他
総数	<b>99,521人</b>	57,683人	8,872人	4,312人	147人	28,507人
40～64歳	2,026人	1,141人	53人	40人	3人	789人
65歳以上	97,495人	56,542人	8,819人	4,272人	144人	27,718人
65～74歳	9,192人	5,835人	356人	192人	9人	2,800人
75歳以上	88,303人	50,707人	8,463人	4,080人	135人	24,918人

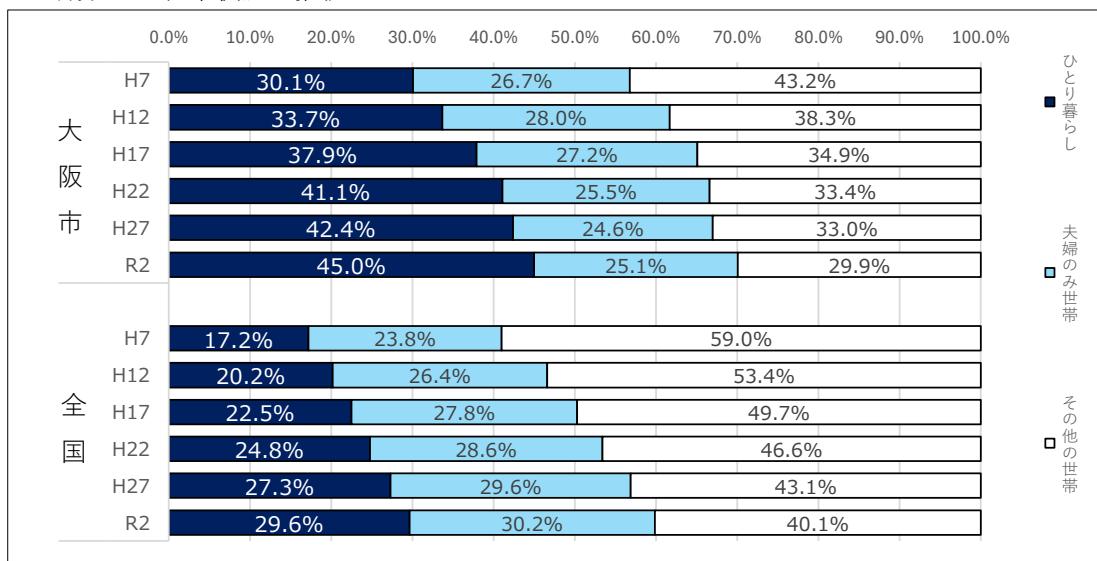
※1 令和6年3月末に介護療養型医療施設が廃止され、介護医療院へ移行した

※2 「その他」は、認知症高齢者グループホーム、特定施設入居者生活介護適用施設、医療機関等

- 2025（令和7）年4月1日の要介護認定調査において、認知症高齢者（日常生活自立度がⅡ以上の人）等のうち、約58%の方が在宅で生活されている。

#### (4) 世帯の状況について

##### 65歳以上の世帯状況の推移



➤ 令和2年度国勢調査によると、高齢者がいる世帯の状況として、ひとり暮らしの割合が全国に比べ高い状況となっており、今後も増加が続くと見込まれる。

## 2 若年性認知症について

### (1) 若年性認知症の人の数の推移

	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
若年性認知症の人の数 (※)	1,539人	1,508人	1,487人	1,516人	1,519人	1,703人	1,730人	1,792人	1,824人	2,026人

※ ここでの「若年性認知症の人の数」は、日常生活自立度Ⅱ以上の人の中、40~64歳の人の数としている。（みなし2号被保険者を含む。）

### (2) 推計値を用いた若年性認知症の人の数の推計

	推計人口数 (※1)	10万人当たり有病者 数 (※2)	若年性認知症の人の数 (推計値)
40~44歳	181,794人	8.3人	15.1人
45~49歳	195,218人	17.4人	34.0人
50~54歳	217,194人	43.2人	93.8人
55~59歳	195,798人	110.3人	216.0人
60~64歳	162,331人	274.9人	446.2人
合計	—	—	805.1人

※1 推計人口数は、大阪市計画調整局の年齢別推計人口（令和7年4月1日現在）

※2 10万人当たり有病者数は、日本医療研究開発機構認知症研究開発事業「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多元的データ共有システムの開発」（R2.3）による

➤ 大阪市の若年性認知症の人（日常生活自立度Ⅱ以上の人）の数は、令和2年3月の若年性認知症実態調査結果による18~64歳人口10万人当たりの有病者数を、大阪市の40~64歳推計人口にあてはめて算出した推計値（805.1人）を超えた数で推移している。